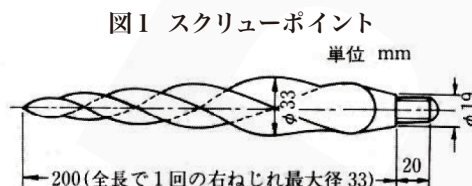


▶ スウェーデン式調査法概要

試験装置及び器具試験装置及び器具は、次の通りとする。

スウェーデン式サウンディング試験機は、スクリーポイント、ロッド、載荷・回転・引き抜き装置からなり、スクリーポイントにロッドを介して荷重を載荷したときの荷重と貫入量の関係、及び1kN{100kgf}の荷重で貫入停止後ロッドを回転させたときの、回転数と貫入量との関係が求められるものとする。

(1) スクリューポイントは、摩耗しにくい特殊鋼製で、図1に示す形状のものとする。



(2) ロッドは、鋼製で次のとおりとし、いずれもロッド連結端から25cm ごとに目盛があるものとする。

- (a) スクリューポイント連結ロッド 径19mm、長さ80cm
- (b) 継足しロッド 径19mm、長さ100cm

(3) 載荷装置は、ロッドに50N{5kgf}、150N{15kgf}、250N{25kgf}、500N{50kgf}、750N{75kgf}、及び1kN{100kgf}の荷重を載荷できるものとする。

備考 載荷装置におもりを用いる場合は、載荷用クランプにおもりを載荷する。

この場合、載荷用クランプは、ロッドの任意の位置に固定し、所要の載荷ができるもので、質量は5kg とする。また、おもりは図2に示す鋳鉄製のもので、質量10kg のものを2個25kg のものを3個とする。なお、この場合の試験機を図3に示す。

図2 おもりの例

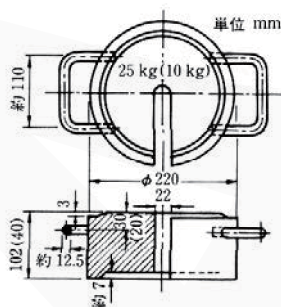
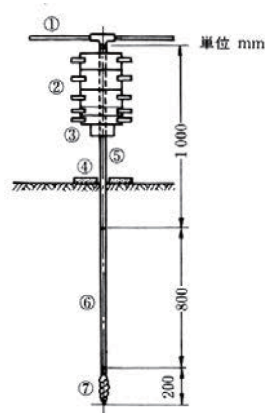


図3 スウェーデン式サウンディング試験機の例



- ① ハンドル、② おもり、③ 載荷用クランプ、④ 底板、
- ⑤ 継ぎ足しロッド、⑥ スクリューポイント連結ロッド、
- ⑦ スクリューポイント